

令和2年度事業「西川町議会事務事業評価シート」
議会による事務事業評価（西川町議会）

No.	予算科目	事業名
4	2款7項1目	210-107-001 寒河江ダム関係に要する経費

1 項目別評価

評価項目	評価点	意見等
1 必要性 ・町民にとって必要な事業か ・社会情勢からみて実施が適切か ・町が主体となって関与すべき事業か	21	寒河江ダム周辺は観光地としての要素が多く、また、ダムにはシンボリックなものが必要であり、観光客も楽しみに訪れている。月山と並ぶ観光資源の一つである。水にこだわる町づくりからすれば大いにブラッシュアップの必要な事業である。都市公園化に伴い今まで以上に必要性が増す。
2 妥当性 ・他事業とサービスが重なっていないか ・他自治体と比べサービスの対象、内容は適切か ・町民目線として適切か	15	施設の維持・管理について、ダム湖周辺で何がしたいのか、どうしたいのかなか分かりづらい。費用だけが嵩み今後財政確保を広く求めるべきである。
3 効率性 ・事業の手法は効率が良いか ・コスト削減の余地はないか ・受益者負担は適正か	12	年数経過と共に、施設は古くなってきており、観光客を呼び込む施設としては魅力が薄れてきている。お金を使ってもらう施設としては不十分である。水の文化館と湖月山荘は休館中で評価できない。大噴水は観光に寄与しているが、今後検討する必要がある。
4 成果 ・事業の目的が達成されているか ・前年以前と比較し成果は上がっているか	10	水の文化館は、当初の目的を果たしていない。大噴水も観光に寄与しているが、もっと別の活かし方があるのではないか。日本一の看板を設置すべきである。水の文化館については、早く計画の見直しをする必要がある。

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
3	1 きわめて良好である 100点	58
	2 良好である 75～99点	
	③ おおむね適正である 50～74点	
	4 問題がある 25～49点	
	5 かなり問題がある 1～24点	
	6 不適正である 0点	

3 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由
3	1 拡充する	ダム周辺を活用するため、多方面の意見を聞くべきである。施設の魅力は常に変化を持たせないと人は飽きてしまう。少しずついいので色々な企画を発信して、来客につなげていくべきである。道の駅が移ってからジリ貧傾向にある。西川町のシンボルの一つでもあるダムを活かしきっていない。都市公園化と共に大胆な有効活用案の検討が必要。都市公園の計画のためプロジェクトの立ち上げが計画されたが、町民参加による幅広い計画になってほしい。全体的な議論が必要である。以上のことから「改善し継続する」と評価する。
	2 現状のまま維持する	
	③ 改善し継続する	
	4 見直しのうえ縮小する	
	5 期間設定し終了	
	6 廃止する	

4 評価に係る意見等

事業の総合評価に関する主な意見、特記事項及び今後の方向性の理由等
この事業は水の文化館、月山湖大噴水、湖月山荘等施設の運営、維持管理を目的にしているが、いずれも老朽化が目立ち早急に結論を出す必要がある。寒河江ダム水源地域ビジョンが平成17年に策定されてから1回も会議が開催されず、平成31年にやっと最上川ダム統合管理事務所から対応協議の申出があり、令和元年に第1回の推進会議が開催された。町は今年の10月頃に今後の方向性を出したいとしているが遅い。観光立町を標榜する西川町がこれだけののだろうか。町民に分かりやすい結果を期待したい。